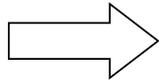


理由節

A



B

理由節

から
ので
ために
おかげで
せいで

主節

Aの内容がBの内容の原因・理由であることを表わす

から

「から」の接続

読む	読むから	立派な	立派だから
	読みますから		立派ですから
赤い	赤いから	学生	学生だから
	赤いですから		学生ですから

動詞の丁寧形で『*読むですから』のようにしないこと
い形容詞で『*赤いだから』のようにしないこと
『普通形+から』／『丁寧形+から』となる

「から」の用法

- * 主節の内容に対する原因・理由を表わす
 - * トマトが好きだから、いつもたくさん食べます。
 - * 主節には意志表現をとることができる
 - * おいしいから、また来よう。 [意志]
 - * もう遅いから、早く帰ろう。 [勧誘]
 - * あぶないから、やめなさい。 [禁止]
 - * 安物だから、もらってくれ。 [依頼]

「から」が表わす理由

- * 「から」が表わす理由→直接的なもの／間接的なもの
- * 直接的な理由（主節の原因となる事柄を示す）
 - * 雨が降っていましたから、傘をさしました。
- * 間接的な理由（主節の根拠となる事柄を示す）
 - * 冷蔵庫の中に牛乳があるから、飲みなさい。
 - * 団子を持ってきましたから、食べましょう。

文末での用法

- * 「…からだ／です」の形で強調や応答を表わす
 - * 遅刻したのは、バスが来なかったからです。
- * 「…から。」で相手に働きかける意味を表わす
 - * じゃあ、あとで連絡しますから。 [注意を促す]
 - * 遠慮しないで。高いものじゃないから。 [補足]
 - * 相手に注意を促したり、理由を補足したりする

自分の事情や都合

- * 目上に自分の事情や都合を言うときに使うと失礼
- * ×用事がありますから、休ませてください。
- * ◎用事がありますので、休ませてください。
- * ×お腹が痛いですから、休んでいいですか。
- * ◎お腹が痛いので、休んでいいですか。
- * ◎お腹が痛いんですが、休んでいいですか。
 - * 許可を求める場合→「が」の前置きが自然
 - * 「から」と「ので」の違いは後述する

ので

「ので」の接続

読む	読むので	立派な	立派なので
	読みますので		立派ですので
赤い	赤いので	学生	学生なので
	赤いですので		学生ですので

『普通形+ので』／『丁寧形+ので』となる
談話体では『読むんで／読みますんで』のようになる

「ので」の用法

- * 主節の内容に対する原因・理由を表わす
 - * トマトが好きなので、いつもたくさん食べます。
 - * 主節には意志表現をとることができる
 - * おいしいので、また来よう。 [意志]
 - * もう遅いので、早く帰ろう。 [勧誘]
 - * 安物なので、もらってくれ。 [依頼]
 - * ?あぶないので、やめなさい。 [禁止]
- 禁止や命令では不自然になることがある

文末での用法

- * 「…ので。」で相手に働きかける意味を表わす
- * じゃあ、あとで連絡しますので。 [注意を促す]
- * 遠慮しないで。高いものじゃないので。 [補足]
- * 相手に注意を促したり、理由を補足したりする
- * 「…から。」より丁寧な語感 (使用範囲は狭い)
- * 「から」と異なり「*…のでだ。」の用法はない

「から」と「ので」

- * 「**から**」
 - * 前件と後件に当然の関係があると主張 (感情的)
 - * 聞き手に対する働きかけがある (外部志向)
 - * 「**ので**」よりも丁寧ではない (書きことば不可)
- * 「**ので**」
 - * 前件と後件に関係がある事実を記述 (理性的)
 - * 聞き手に対する働きかけがない (内部志向)
 - * 「**から**」よりも丁寧である (書きことば使用可)

感情的／理性的

- * 「から」：感情的／「ので」：理性的
- * ◎バカだと言ったから、殴ったんだ。
- * ?バカだと言ったので、殴ったんだ。
 - * 「から」→当然の判断だと訴える意味がある
- * ?電車が遅れたから、遅刻してしまいました。
- * ◎電車が遅れたので、遅刻してしまいました。
 - * 「ので」→自分の判断を事実として述べている

働きかけの有無①

- * 「から」：働きかけあり／「ので」：働きかけなし
- * ◎じゃまだから、あっちへ行け！
- * ?じゃまなので、あっちへ行け！
- * ◎うるさいから、おしゃべりをするな！
- * ?うるさいので、おしゃべりをするな！
 - * 「ので」→聞き手への働きかけなし（弱い）
 - 命令や禁止などの表現には使いにくい

働きかけの有無②

- * 「から」：働きかけあり／「ので」：働きかけなし
- * ?食事を用意していますから、こちらへどうぞ。
- * ◎食事を用意していますので、こちらへどうぞ。
 - * 「から」を使うと押しつけがましく感じられる
- * ?人が来ると聞いていたから、掃除しました。
- * ◎人が来ると聞いていたので、掃除しました。
 - * 「から」では報酬を要求するように感じられる

「から」と「ので」の丁寧さ

- * 「から」：丁寧でない／「ので」：丁寧である
- * ?足下がすべるから、注意してください。
- * ◎足下がすべるので、注意してください。
 - * 「ますので／ですので」はさらに丁寧である
 - * ?用意いたしますから、お待ちください。
 - * ◎用意いたしますので、お待ちください。

ために

「ために」の用法

* 原因・理由を表わす

- * 冷水浴をしたために、カゼをひいてしまった。
- * ボスがいるために、組織の求心力が失われる。
- * 大きな問題があったために、製品を回収した。
 - * 動作動詞→タ形／状態動詞→ル形・タ形が多い

* 目的を表わす

- * 冷水浴をするために、シャワーの用意をする。
 - * 動作動詞→ル形が多い

「ために」と「ため」

- * 「ために」は「ため」としても同じ意味になる
- * 冷水浴をしたために、カゼをひいてしまった。
- * 冷水浴をしたため、カゼをひいてしまった。
- * ボスがいるために、組織の求心力が失われる。
- * ボスがいるため、組織の求心力が失われる。
- * 冷水浴をするために、シャワーの用意をする。
- * 冷水浴をするため、シャワーの用意をする。

理由が重複する場合

- * 1つの文の中に複数の理由を述べる場合
- ➔ 「ので」「から」は重複して使うことができない
- * × 仕事があるので、忙しいので行けません。
- * × 仕事があるから、忙しいから行けません。
- * 『(左)て→ために→ので→から(右)』の順で使う
- * 仕事があって、忙しいために行けません。
- * 仕事があるので、忙しいから行けません。
- * 仕事があるために、忙しいので行けません。

おかげで／せいで

「おかげで」の用法

- * 原因・理由を話し手の主観的評価を伴って示す
 - * 評価はプラス評価が多いがマイナスの場合もある
 - * 先生のおかげで、日本語が上手になった。 [+]
 - * 先生のおかげで、文法が再履修になった。 [-]
 - * 主節には利益／不利益を表わす表現が使われる
 - * ??先生のおかげで、留学することにした。
 - * ◎先生のおかげで、留学することができた。

「せいで」の用法

* 原因・理由を話し手の主観的評価を伴って示す

* 評価はマイナス評価となる

* ×先生のせいで、日本語が上手になった。 [+]

* ◎先生のせいで、文法が再履修になった。 [-]

* 主節には不利益を表わす表現が使われる

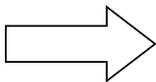
* ◎先生のせいで、留年することになった。

* 後悔や不満の意味を表わす場合が多い

目的節

目的節

A



B

目的節

ために
ように
には

主節

Aの内容がBの行為や動作の目的であることを表わす

ために

「ために」の用法

* 目的を表わす

- * 専門知識を学ぶために、大学に通っています。
- * 冷水浴をするために、シャワーの用意をする。
 - * 動作動詞→ル形が多い

* 原因・理由を表わす

- * 冷水浴をしたために、カゼをひいてしまった。
 - * 動作動詞→タ形／状態動詞→ル形・タ形が多い

「ために」と「ため」

* 「ために」は「ため」としても同じ意味になる

- * 専門知識を学ぶために、大学に通っている。
 - * 専門知識を学ぶため、大学に通っている。
- * 冷水浴をするために、シャワーの用意をする。
 - * 冷水浴をするため、シャワーの用意をする。

ように

「ように」の用法

* 目的を表わす

- * 背が高くなるように、毎日牛乳を飲んでいる。
- * すぐ出かけられるように、準備をしている。
- * カゼをひかないように、暖かくして寝る。
 - * 目的節では可能形や否定形がよく使われる
- * 学生が勉強するように、(先生が)教材を工夫する。
 - * 目的節と主節とで主語が異なる場合も多い

「ように」と「ために」

- * ために→積極的に志向／主に意志動詞
- * ように→消極的に志向／主に無意志動詞・可能形
- * ◎偉い人になるために勉強します。 [意志動詞]
- * ??偉い人になるように勉強します。 [意志動詞]
- * ◎偉い人になれるように勉強します。 [可能形]
- * ×花がよく育つために水をやる。 [無意志動詞]
- * ◎花がよく育つように水をやる。 [無意志動詞]

には

「には」の用法

* 目的を主題として提示する

- * 2級に合格するには、初級での学習が重要である。
- * 景気を回復するには、財政出動が必要であろう。
- * 主節は目的についての判断を表わす内容となる
- * 楽しい冬休みを過ごすには、まずは文法のテストに合格しておく必要があるのではないだろうか。
- * 主節の部分が、かなり長い文になることもある

おわり